

# ユーザーフレンドリーな パーツカタログ作成のおすすめ

## 目次

1. パーツカタログの役割・・・・・・・・・・ 2

2. パーツカタログ作成の流れ・・・・・・・・ 3

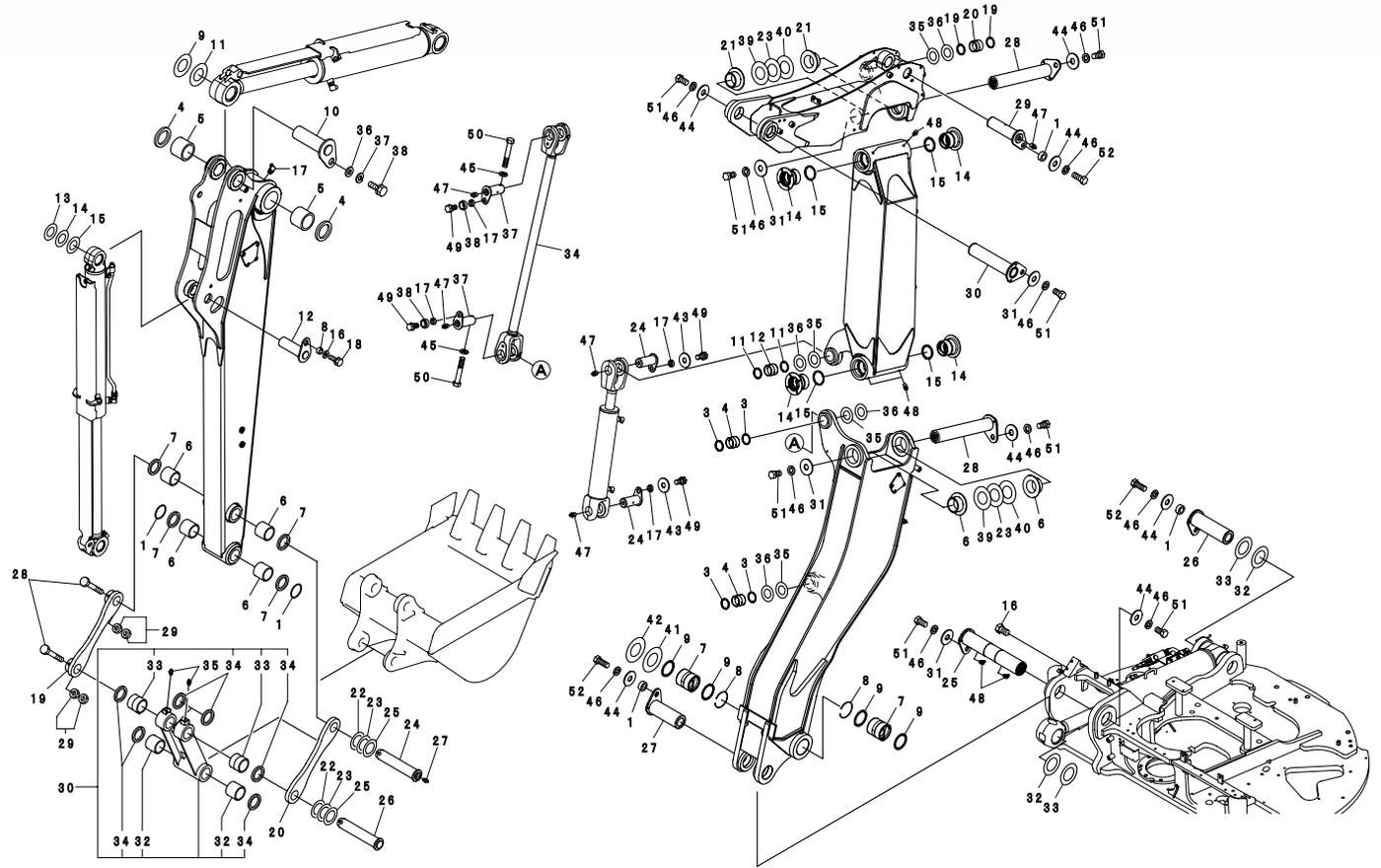
3. パーツカタログ作成で活用するスキル・・・ 5

4. パーツカタログ作成の重要なポイント・・・ 6

5. パーツカタログのこれから・・・・・・・・ 7

6. 費用について・・・・・・・・・・・・・・ 8

キテックス連絡先・・・・・・・・・・・・・・ 8



# 1. パーツカタログの役割

---

## パーツカタログとは？

メーカーから消費者や販売店に向けて、補修部品情報を案内するマニュアルです。

### このような要望があるとき…

- メンテナンスの敏速・正確・確実な対応をしたい
- 充実したサービスをお客様に提供したい
- エンドユーザーに対する万全のフォロー体制を構築したい



### パーツカタログを導入すると…

- 必要なパーツがイラストで正確につかめる
- リストによってパーツの品番が正確にわかる
- 正確な注文ができる
- 補修に必要な部品受発注時の間違いが減る
- 部品交換手順の参考にすることができる

キテックスでは、企画から制作、データ化、印刷までトータルにお応えしています。

## 2. パーツカタログ作成の流れ

### 1 企画・構成

パーツカタログには豊富な機能があり、その方向性を決める上で最も重要な工程です。

- パーツリスト（部品表）の編集や表現方法の打ち合わせ
- 部品の構成や販売、非販売などの基本的な内容を決定

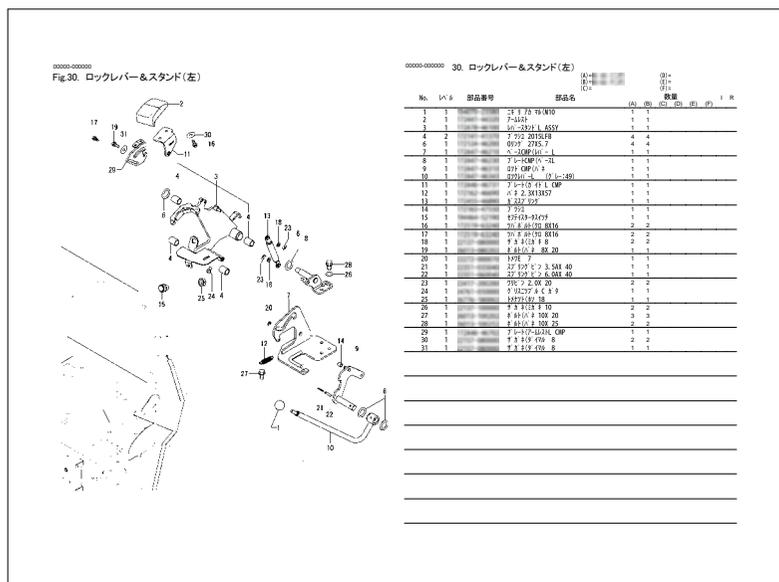
### 2 パーツリスト（部品表）の作成

資料を基に企画・構成、決定した内容にそってリスト編集します。

### 3 イラスト（立体分解図）の作成

作成したパーツリストの構成を基に、イラストを作成します。

- テクニカルイラストレーションで作成するため、製品の形状・内部構造などが分かりやすくなる
- パーツがどのように配置されるのか、正確に表現できる
- イラストから、パーツを特定することが容易になる



### 5 さまざまな納品形態

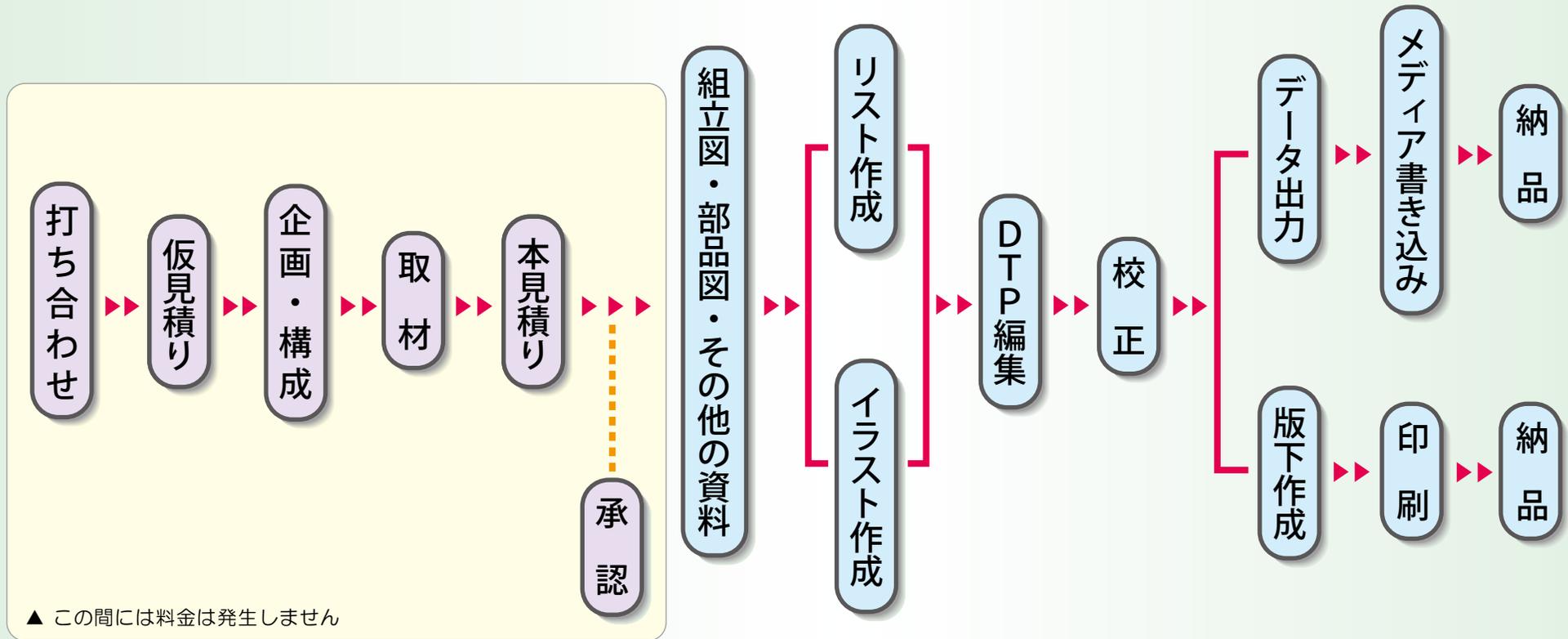
印刷はもちろん、各種記録メディア（MO・CD・DVD等）でのデータ納品にも対応いたします。

ご指定の場所への発送もおまかせください。また、印刷物の在庫管理も当社で承ります。

### 4 DTPによる作成

文字入力やデザイン、レイアウト、校正といった全工程をパソコン上で行いますので、より正確で迅速な対応が可能です。

# 作成プロセス



# 3. パーツカタログ作成で活用するスキル

## パーツリスト作成

パーツの品番を確定していく作業を行います。品番確定のために、品番の体系化を行います。

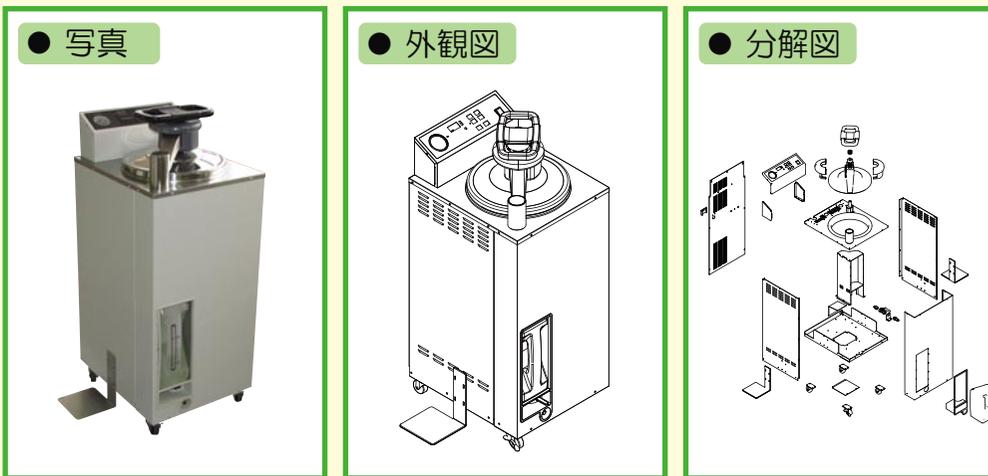
パーツの構造上の特性に基づき品番をつけていくことを意味します。

その上で、イラストとリストの品番を一致させ、イラスト・品番のどちらからもパーツを特定できるようにします。

## テクニカルイラスト

テクニカルイラストの技法を駆使し、正確に表現された製品のイラストを作成します。

テクニカルイラストとは、投影理論に基づき、図面、写真、現物などから製品の形状・構造・機能などを正確かつわかりやすく表現した立体図です。形状や関係をユーザーに確実に伝えることが可能となります。



▲ 外観図・分解図はアイソメトリック図法により作成しています。

## お客様にご用意していただくもの

パーツカタログ作成に必要な資料は次のものです。

### 図面

組立図  
部品図  
CAD データなど  
(2D・3D)

### 部品情報

部品表  
エクセルデータなど

### その他資料

技術資料  
写真  
実機  
製品カタログなど

- 図面・CAD データの提供が難しい場合、商品から作図いたします。

## 4. パーツカタログ作成の重要なポイント

---

### 正確であること

多種多様なパーツの中から必要とするものを正確に見つけなければなりません。

弊社では、データの抜けなどが起こらないように

「オリジナル専用ソフト」を使用し、正確に  
パーツリストを作成します。

### 容易に特定できること

イラストはパーツを容易に特定できることが重要です。イラスト数が多くて少なすぎてもパーツカタログとしては、非常に見づらいものになります。

長年の経験と独自のノウハウで、  
部品点数とイラスト形状を考え、最適なバランスの  
見やすいパーツカタログを作成します。

### 製品構成がわかること

製品は構造上、体系的に構成されています。すなわち、機能発揮のために個々のパーツが有機的に関係しているのです。

製品の構成をわかりやすくパーツカタログに  
表現します。

## 5. パーツカタログのこれから

---

### 製本した パーツカタログ

お客様からお問い合わせがあれば、製本されたパーツカタログから部品を特定し、納品します。オーソドックスな方法ですが、簡便さの点から主流の方法です。

### デジタル化した パーツカタログ

デジタル化したパーツカタログをCD-R・DVD-Rなどへ保存します。印刷・製本してのカタログと異なり、制作費が格段に安く、大量の配布が可能です。

### これからの パーツカタログ

ネットワークを利用したパーツカタログです。インターネット上のパーツカタログで必要なパーツを特定、発注を行い、納品から決済までが一連のシステムのなかで処理されるシステムです。キテックスでは、パーツカタログについて、常に研究を重ねています。

## 6. 費用について

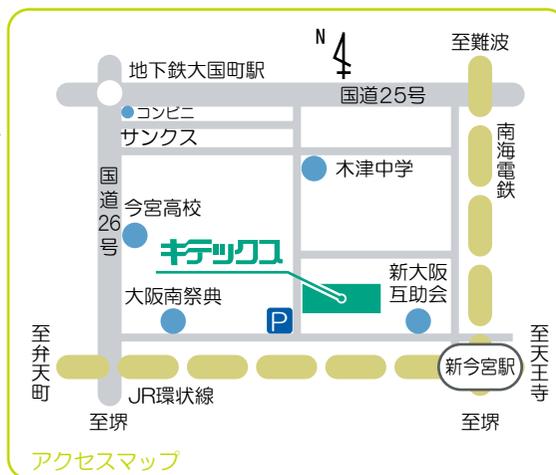
■ パーツカタログの作成費用は、下記の要素およびお客様の要望により変動します。

- 資料
- 部品点数
- 部品構成
- 外観形状
- 内部構造
- パーツリストの情報量

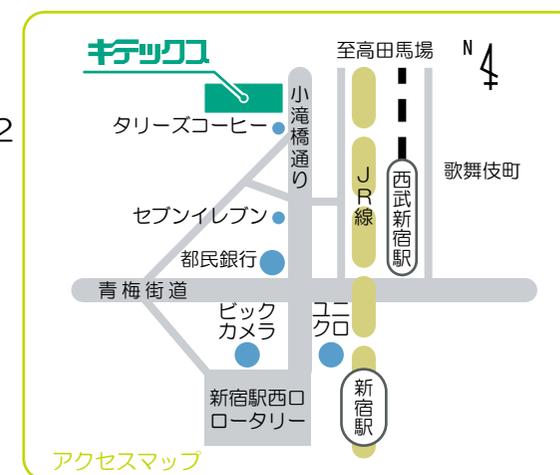
お客様の使用用途に合ったパーツカタログをご提案、お見積もりさせていただきます。

## キテックス連絡先

[大阪本社]  
〒556-0013  
大阪市浪速区戎本町 2-3-14  
  
Tel.06-6649-0295  
Fax.06-6631-8004



[東京支社]  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 7-8-12  
昇立西新宿ビル 6F  
Tel.03-5386-6541  
Fax.03-5386-6543



HP ▶ <http://www.kitex.co.jp/>

e-mail ▶ [info-ktx@kitex.co.jp](mailto:info-ktx@kitex.co.jp)